令和7年度 決算認定について

決算に対する公明党市議団の意見（令和7年度決算議案　賛成討論より）

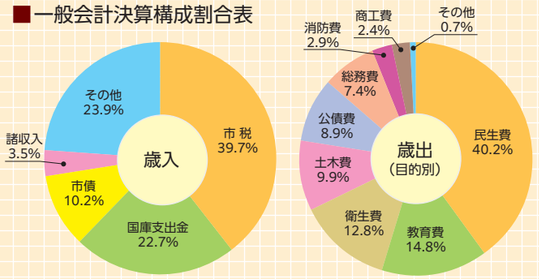
令和7年度の一般会計・特別会計の実質収支額が、55億2234万円となりました。また一般会計においても、24億6336万円の実質収支が確保されました。

令和7年度の財政運営も大変に厳しい状況で、財政調整基金の取り崩しが一層進み、45億4518万円の残高にまで減少していることや、病院事業における累積赤字対策などが依然として油断できないこと、さらには公共施設の更新・維持管理費用が毎年度に大きな財政負担として顕在化している等の課題があります。

しかしながら、中期財政運営方針に基づき、市債残高や基金借入のコントロールに努め、財政の健全性を一定程度保ったものと確認いたしました。

今後も、財政健全化に向けた取り組みを着実に継続するとともに、さらなる市民福祉の向上と、活力ある千葉市の実現に向けて全力を尽くされることを求め、公明党千葉市議会議員団として、令和7年度決算を認定すべきものと判断いたしました。

■一般会計決算構成割合表



令和9年度 予算編成に関する重点要望書を提出

1 長期的な経済動向を見据えた機動的な物価高対策の推進
2 持続可能な行財政運営に向けた取り組みの強化
3 市民サービス向上に資する行財政改革への取り組み強化
4 気候変動等に対応した防災・減災対策の強化
5 文化・芸術・スポーツの振興
6 共生社会実現に向けた諸施策の推進
7 安心・安全な市民生活に向けた諸施策の拡充
8 超高齢社会への対応施策の強化
9 健康づくり・医療施策の推進
10 障がい児・者支援施策の推進
11 子ども・子育て支援事業の推進
12 児童生徒の安全対策および安心して学べる教育環境の整備
13 脱炭素社会づくりに向け、GXの実現など地球温暖化対策の着実な推進
14 生ごみ・プラスチックごみ対策など ごみ削減・資源循環体制の確立
15 就職氷河期世代支援をはじめ 非正規雇用者の就労や生活支援・キャリア形成の強化
16 農業の持続的発展を支える担い手の確保・育成および成長産業化の推進
17 都市の活性化に向けた取り組み推進
18 ドローンなど先端技術を活用したインフラ老朽化対策の強化
19 新病院の円滑な運営および青葉病院の適切な老朽化対策の実施



市政に関するご意見やご要望をお寄せください!

年齢・お住まいについて（該当するものに✓をおつけください。）

▶お住い　□ 中央区　□ 花見川区　□ 稲毛区　□ 若葉区　□ 緑区　□ 美浜区

▶年齢　□ 20歳未満　□ 20～39歳　□ 40～59歳　□ 60～74歳　□ 75歳以上

お寄せいただいたご意見・ご要望については、政策提案等に役立ててまいります。 FAX.043-245-5584

公明党千葉市議会議員団　TEL.043-245-5483　https://chibakomei.com/

公明党千葉市議会議員団 市議会だより

2026 秋号

発行日/令和8年10月　発行/公明党千葉市議会議員団
〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1

令和8年8月 千葉豪雨災害

豪雨災害からの復旧支援に向けた市議団の取り組み

令和8年8月の豪雨では、市内で24時間降水量が360ミリを超える記録的な大雨となり、道路冠水や住宅浸水、崖崩れなど深刻な被害が発生しました。お亡くなりになられた方々に哀悼の意を表し、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

今回の災害では、都市部特有の課題としてマンションの地下電気設備が浸水し、停電・断水・エレベータの停止が相次ぎました。また、自費で介護サービスを利用せざるを得ない方や一人暮らしの高齢者など、支援につながりにくい事例も多く見られました。

公明党市議団は、発災直後から現場で市民の声を伺い、制度の狭間に取り残されない「伴走型支援」の必要性を確認し、8月27日に神谷市長へ緊急要望書を提出しました。代表質疑では、マンション被害への支援について質問し、市長からは被害状況の把握を踏まえ、支援物資の提供、避難環境の整備、応急住宅の確保など、状況に応じた支援を進めるとの答弁がありました。


道路崩落


アンダーパス冠水


農地への土砂流入

令和8年8月 千葉豪雨災害に関する緊急要望書

要望の主な内容

1 被災住宅の片付け、衛生対策および災害廃棄物処理
床上・床下浸水世帯への清掃・消毒支援・り災証明書の申請補助、調査体制の強化・災害ごみの回収体制強化。

2 制度の狭間をなくす支援
長期停電・断水被害への支援体制の構築、自費介護サービス利用者への支援制度の創設、一人暮らし高齢者などへの支援強化、災害救助制度等の積極的活用など。

3 市民生活・事業者再建支援
応急修理制度の周知徹底および活用推進、代替住宅の確保、水没車両への相談支援体制の整備、被災事業者への伴走型支援の強化など。

4 二次災害および地域の孤立の防止
崖崩れ・土砂災害対策の的確な掌握と伴走型支援および二次災害防止対策の実施、安全な通学路の確保など。

5 農業の事業継続支援
早期営農再開に向けた農機具等の修理・買い替えなど復旧支援の強化。

市議団HP


令和８年８月千葉豪雨災害に関する緊急要望書を提出

令和8年
第3回 定例会

公明党市議団の代表質疑より

防災アセスメント調査をもとに、災害に強いまちづくりを推進

近年、地震や豪雨などの自然災害が相次ぐ中、市では「防災アセスメント調査」の結果を基に、避難体制の強化、家庭の防災力向上、医療機関の災害対応など、総合的な防災・減災対策を進めています。





● 分散避難の促進

できるだけ普段に近い環境で過ごしていただくため、自宅・親戚宅・車中泊など、状況に応じた「分散避難」を促進します。パンフレットの作成、地域避難施設や車中泊場所の拡充、民間施設の活用、在宅避難者への物資・情報提供を進めます。

● 感震ブレーカーの普及

地震後の電気火災を防ぐ「感震ブレーカー」を、市内全域への普及拡大を検討し、家庭の防災力を高めます。

● 市立病院の災害対策強化

豪雨災害の教訓を踏まえ、ライフライン確保、非常用電源の安全性向上、BCP（業務継続計画）の見直し、DMAT（災害派遣医療チーム）・DPAT（災害派遣精神医療チーム）派遣訓練などを進めます。

マンホール蓋の災害対策と歩道部調査の新たな取り組み

令和８年８月豪雨ではマンホール蓋の飛散が発生しました。車道部は、車両に搭載したカメラで道路の状況を計測するモービルマッピングシステム（MMS）とAI解析により調査効率が約３倍に向上していますが、歩道部は約１万６千基と多く、調査効率が課題です。副市長からは、歩道部の新たな調査手法として、市民参加型の「マンホールアドベンチャー」を導入したことが示されました。



対象マンホールを確認



撮影（全景・近景）

【マンホールアドベンチャーとは】

市民が専用アプリでマンホール蓋を撮影・投稿し、短期間で大量の画像を収集する取り組みです。東京23区では３日間で約１万基を確認するなど効果が示されています。

千葉市では「千葉開府900年」「下水道事業90周年」を記念し、10月24日・25日に開催。市民や愛好家が参加でき、投稿者にはポイントが付与され、上位者にはデザインマンホールのオリジナルグッズが贈呈されます。

収集した画像はAI解析で、更新優先度を判定し、歩道部の安全対策に活用します。

入院中でも学びを続けられる「院内学級」をさらに充実

幕張海浜病院が開院

本年10月、新たに整備された幕張海浜病院が開院しました。

同院は西部地域の中核病院で、小児科病棟を備える県内でも数少ない医療機関です。

令和８年４月には隣接地に幕張若葉小学校が開校し、教育と医療が連携しやすい環境が整いました。千葉市ではこれまで、青葉病院や海浜病院に院内学級を設置し、在籍校や特別支援学校と連携しながら、院内授業やベッドサイド学習を行い、入院中でも子どもの「学びの継続」を支えてきました。

今回の質疑では、院内学級の体制や課題を確認し、今後の充実策を問いました。

教育長からは、「在籍校との情報共有を強化し、環境変化に不安を抱える児童生徒への支援を充実させる。幕張海浜病院では幕張若葉小との近接性を生かし、医療機関との連携を深めながら、一人ひとりに応じた支援を進める」との答弁がありました。


千葉市立幕張海浜病院前にて

市議団として、医療的ケアや特別な支援が必要な子どもたちが安心して学び続けられるよう、院内学級の充実に取り組んでまいります。

5歳児健診の導入に向けた体制整備



５歳児健診は、言語理解や社会性が大きく伸びる時期に子どもの特性を把握し、保健・医療・福祉・教育へつなげる重要な機会となります。

副市長からは、「先行自治体の調査、庁内関係部署や市医師会などの関係機関との連携体制の整備、健診後のフォローアップ体制の検討など、課題整理を進めている」との答弁があり、国が示す令和10年度までの実施に向け準備を進める意向が示されました。

市議団としても、子どもの発達を切れ目なく支える健診体制の構築に向け、取り組みを進めてまいります。

Topics

高度ポリテクセンター視察

千葉市には、ポリテクセンター（稲毛区）、ポリテクカレッジ（中央区）に加え、全国で唯一、在職者向けに特化した高度・先導的訓練を行う高度ポリテクセンター（美浜区）の3つのポリテクが設置されるなど、全国でもトップクラスの規模で職業訓練施設が集まっています。

市議団としても、こうした職業人材育成施設が市内にある強みを活かし、地域産業の活性化や若者のキャリア支援につながる取り組みを積極的に支援してまいります。

